

「東部・富士山地区合同分科会」

■日時/2021年2月24日

■ウェブセミナー/視聴会場・サンフロント9Fミーティングホール



2021年2月、サンフロント21懇話会2020年度東部・富士山地区合同分科会が開催され、テレビでもおなじみのさかなクンが駿河湾の海の恵みやこれからの環境保全の在り方について、分かりやすく楽しく解説した。

続くパネル討議では、海洋資源に関わる専門家が環境保全、水産・観光振興の視点から幅広い意見交換を行った。今回も新型コロナウイルス感染症拡大防止の一環として、オンライン配信と会場視聴を組み合わせで行われた。

主催者挨拶



静岡新聞社 常務取締役
谷川 治

みなさまこんにちは。本日はお忙しい中サンフロン21懇話会の東部・富士山地区合同分科会にご参加いただき、誠にありがとうございます。新型コロナウイルス感染症対策として今回の分科会は昨年の伊豆地区分科会、今年1月の全体会に引き続き、オンラインで開催することとなりました。パネル討論をオンラインで実施するのは初の試みです。

今回の分科会のテーマは駿河湾です。日本で一番高い富士山の眼下に広がる日本で一番深い湾の魅力や豊かさについて、多角的に語ってまいりたいと思います。基調講演は皆さまおなじみのさかなクンで、本日は東京から生出演されます。東京海洋大学名誉博士として駿河湾の魚を始めとする海洋生物にも大変お詳しいと伺っています。

続くパネル討議は駿河湾の海洋資源と環境保全をテーマに、各分野のパネリストに駿河湾の恵みを地域振興にどうつなげていくか、未来にどう受け継いでいくか、さまざまなお意見を伺いたいと思います。

サンフロン21懇話会はこれまでさまざまな支援や提言を行ってまいりました。新型コロナへの対応など課題もありますが、今後も県東部地区の発展に向けて取り組んでいきます。会員の皆さまのご支援に改めて感謝を申し上げますと共に、さらなるご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

懇話会代表挨拶



サンフロン21懇話会
副代表 幹事
(静岡ガス(株) 特別顧問)

岩崎 清悟

今回のコロナパンデミックは社会の価値観や生活様式を大きく変え、様々な課題を顕在化させ、私たちに対応を迫っております。まずはこの困難を耐えしのぎつつ、ここで得た気づきを、今後に向けた意識改革や構造改革につなげていくことが大切ではないかと思っております。

コロナ禍で県東部基幹産業である観光は大きな打撃を受けましたが、観光地としての体質改善を図るチャンスでもあります。伊豆や富士山麓で自転車競技が開かれる東京五輪・パラリンピックやトヨタ自動車が裾野市に展開する未来型実証都市「オープンシティ」など、東部に吹いた追い風を確実に捕らえることができるよう、懇話会としても支援していきたいと思っております。

本日の合同分科会のテーマである駿河湾も、身近でありながら多くの未知の可能性を秘めた海です。最近では全長1m40cmもあり、深海の食物連鎖の最上位に立つという新種の巨大魚ヨコヅナイワシの存在が明らかになりました。この日本一深い湾がもたらす豊富な資源を解明し、生かし、守っていくことで、地域に大きな魅力を加えていくことになるのではないのでしょうか。本日のさかなクンの基調講演やパネルディスカッションを通して、その一端に触れることができるのではないかと大いに期待しております。

コロナ禍が続く中、懇話会の開催方法なども普段と異なる対応を余儀なくされておりますが、会員や県民の皆さまの健康や安全を最優先に運営に努めてまいります。今後も県東部活性化に向け、皆さまの一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

基調講演

豊かな海、駿河湾からの恵み

講師

タレント、東京海洋大学名誉博士
さかなクン



駿河湾に生息する 1,000種の海洋生物



本日は大変貴重な機会をいただきありがとうございます。駿河湾からはとても多くの感動をいただいています。本日は駿河湾の魅力いっぱいのお魚についてお話したいと思います。

駿河湾のここ最近の大きなニュースとしては、ヨコヅナイワシの発見ですね。日本中はもちろん世界の人々もビックリしたことでしょう。ヨコヅナイワシと言ってもイワシの仲間ではなくセクトリイワシという深海魚の仲間です。ニギス目ですね。深海魚も1mを超す新種が発見されるとはギョギョ!の出来事です。

駿河湾には一体どのような特徴があるのでしょうか。まず何と言っても日本一深い湾。最深部はおおよそ2,500m。私たちは200m以上を深海と呼びますので、いかに深いかがお分かりでしょう。魚の種類もすギョク多くて、おおよそ1,000種といわれます。どれだけすギョいかといえば、日本中の海、川、沼、湖などすべての水域に生息する魚が4,200種ほどといわれています。この中には淡水魚も含まれます。そのうち1,000種も駿河湾で確認されているというのは本当にすギョいことです。

この中には私たちが大好きなアジ、サバ、イワシの仲間が多いのですが、代表的なのはなんといっても(魚ではなくてごめんなさい)、甲殻類のサクラエビです。日本でも漁獲として成り立つのはこのみ。サクラエビはその昔、アジ漁の漁師さんが夜の海に出て網を少し浮かせるた

めに浮きを使っていたところ、浮きが流されてしまい、網がどんどん沈んでしまって大慌てで網を上げたところ、赤いエビがいっぱい捕れたそうです。これを私はまさに静岡新聞の記事で拝読しました。

サクラエビはとても面白い暮らしをしています。日中は深い海にいて、夜になるとエレベーターのように上に上がってきます。表層域にいるアジやイワシやサバなどの天敵がない夜間に上がってくるわけですね。以前、サクラエビ漁の船に乗せていただいたことがありまして、網を上げると中が一面真っ赤で、太いホースでブワツと吸い込ませ、まるで血液が回るように捕れました。捕れたてのサクラエビの山盛りを食べさせていただき、こんなに甘くて美味しいのかとビックリし、がぶついたものですから触角で口の中を切ってしまいました(笑)。

キンメダイの魅力



駿河湾の1,000種のお魚の中には、見ると飛びきり幸せになる魚がいます。大きな目と口、大きな尾ビレ、泳ぎはとても優雅。体の色は生きて泳いでいるときは桃色がかっていますが、水揚げすると全身真っ赤になります。もうお分かりですね、キンメダイです。鮮やかな色と美しい姿、食べて飛び切りおいしい素晴らしい魚です。

泳いでいるときは、背中側がピンクがかかった色でお腹は金色。水揚げしたら全身真っ赤。光が届きにくい深海に住んでいるので光を効率よ

く反射させるためにあの金色の目をしています。先日NHKの番組で稲取のキンメダイに会ってきました。天候不良で漁はできなかったのですが、事前に用意していただいたものを食べさせてもらいました。キンメダイは2匹を、腹を合わせて煮付けて縁起物にします。

美味しくいただくときのポイントですが、キンメダイは他の魚と違い、胸ビレを非常によく動かします。煮付けを食べるとき、胸ビレ周辺の身は赤茶色に見えて、まるでカツオやマグロを煮たときのような色になります。基本的には白身の魚なのですが、一部が赤身という魚です。赤身の成分ミオグロビンという成分が含まれているんですね。食べると食感もよく味も良い。

スプーン一杯分の胸ビレを食べると、その近くにキンメダイの大きな目のような穴が空いていて、まさに“鯛中の鯛”のキンメダイそっくりの骨が出てきます。胸ビレと一緒に取ると、まるでトサカを付けたように見えるので、稲取ではきれいに吊して縁起物にしているそうです。

駿河湾が誇る世界一の魚



駿河湾には世界一の特徴を持った魚がいます。まず一つ目はカツオ。カツオが世界一と聞いてもピンとこないと思いますが、カツオは背中が群青色でノコギリのようなギザギザしたヒレがあります。水揚げするとお腹に鯉縞といわれるシマが現れますね。世界一の特徴は何かといえ、漢字で「鯉」と書くように世界で一番堅い食品になる。そう、鯉節のことですね。身近な食材ですが世界一堅い食材と聞くとビックリですよ。

鯉節にするためには煮て干してカビ付けをして水分を飛ばして堅くします。尾ビレをビュンビュン振って泳ぐ魚なので、この尾ビレもとてもカチカチです。これを何かに代用できないかと考え、鍋でグツグツ5分ぐらい湯がいて取り出すと、指でほぐれ、ヒレが大きく広がります。1本1本が先で枝分かれするのです。付け根はピンと鋭くなっているので、ほぐして歯ブラシで磨くと、1本1本きれいな爪楊枝に変身します。ぜひカツオの堅い尾ビレで爪楊枝を作ってみませんか？

カツオは天敵のサメに出くわすと、サメに飲み

込まれないよう、水の抵抗でUターンをし、ヒレをピンと立てて大の字になったように急ブレーキをかけます。駿河湾の季節を伝えてくれる魚でもあり、「目に青葉、山ホトトギス、初カツオ」と詠まれるように、春先になると駿河湾や相模湾に南の外洋からやってきて、また秋になると脂をたっぷり乗せて帰ってきてくれます。私は御前崎のカツオを応援させてもらっています。

次の世界一の特徴を持つ魚は、カツオを食べることもあるバショウカジキです。口先が尖り、体長は3mにもなり、大きな背ビレを持つ世界一のスピードスイマー。ちょっと昔の文献を見ますと時速100~120kmと高速道路の車並みの速さで泳ぎます。水の中で速く泳げるというのは大変なことですが、ふだんは人が早足で歩くぐらいの速さで泳いでいて、獲物のイワシ、イカ、カツオを見つけると猛ダッシュします。海外では群れを作って狩りをする姿も見られるそうです。

もう一つの世界一は、誰もが大好きなジンベイザメ。とても穏やかで平和を象徴するような魚ですね。体にとってもキレイな甚平羽織のような模様があることからその名が付けられ、頭には水玉模様がいっぱいあり、大柄の線と水玉が交互についています。沖合の表層域を泳いでおり、長時間泳いでも疲れな流線型の体をしています。全長は10mほど。日本近海では5~7mのサイズが多いようです。こういう魚が駿河湾にやってきてくれるとうれしくなりますよね。こんなに大きいのに小さな甲殻類やプランクトンを餌にしています。

地球上最大の動物といわれるシロナガスクジラも、プランクトンを餌にしています。それだけプランクトンが栄養豊富というわけです。

プランクトンは浮遊生物ですが、浮力の源は脂です。脂がいっぱいあるからこそ、プランクトンをたくさん食べるイワシやサンマやサバやカツオもおいしくなるんですね。プランクトンは一カ所に大群を作りますので、一気に大量に食べられる。大きなクジラやサメがおなかを満たすこともできるのです。

ジンベイザメはご存知のようにコバンザメやカツオを引き連れて世界中の海を旅します。彼らはジンベイザメに寄り添って安心して旅ができるわけですね。

メンダコとの出会い



駿河湾の特徴と言えば、やはり深海の生き物です。2,500mの深さを誇るわけですから、どんな生物がいるのかワクワクします。有名な深海生物といえばメンダコ。本当にかわいくて水族館でも大人気です。かつて水族館では非常に飼育が難しいと言われていました。

生きた姿を見るには水族館に行くしかありませんが、ちょうど15～16年ほど前、TBSのどうぶつ奇想天外という番組に魚ナビゲーターとして出演していた時、駿河湾の底引き網漁取材させてもらったことがあります。漁師さんが沖合まで船を出してくれて、漁場に着くと大きな網を海底200mに下ろし、しばらく待って船で網を引きます。網がゆっくり上がってきて、まずクモヒトデが山のように出てきました。私は船酔いとおどろおどろしいヒトデの山にウェ～ツとなりそうでしたが、その中に、スライムのようなグニョグニョしたものが出て、「これが、あんたたちが探していたメンダコだよ」と漁師さんに教えてもらいました。そのグニョグニョ溶けたような生き物が、水槽に入れると水を得た魚のようにフワッと膨らみ、タコさんウインナーのような形になってビックリ仰天。広げた足を思い切り伸ばして泳ぎだし、伸ばしたり縮めたりと活発に動き出したので、これをそのままTBSのスタジオに持って行ったら、(動物学者の)千石正一先生もさぞ喜ばれるだろうと思い、持って行きました。スタジオの千石先生、みのもんたさん、高田純一さんも大喜びでしたね。この放送をきっかけにメンダコの知名度が一気に上がりました。

私たちが駿河湾にできること



ここ近年、世界中の海ではごみの問題が深刻になっています。ふだん海岸線を歩くだけで、あちこちにごみが散乱しているのが分かります。海や魚からさまざまな感動をいただいている自分としては、恩返しのつもりで、見つけたごみはなるべく回収するようにしているのですが、一人でできることには限界があります。

海の中に潜ってみると、海底に牛乳パック、自

転車の空気入れ、レジ袋、空き缶、空き瓶を見つけます。本来は海藻の森や岩の近くに巣を作る魚たちも、ゴミで覆われてしまうと、やむなく空き缶を住まいにするものもいます。ごみの家に暮らすなんて悲しいですよ。近年ではごみを食べてしまう海洋生物も増えてきました。駿河湾の冬の季節にやってくるミズウオは見つけたものを何でも食べてしまいます。レジ袋やペットボトルも食べてしまいます。海洋プラスチックを食べてしまうのは、もちろんミズウオのみならず、多くの魚類やイルカ、クジラ、ウミガメ、鳥も同様です。私が以前、定置網漁の船に乗せてもらった時に見つけたのは、サメの頭に、荷造りに使うようなバンドが巻き付いてサメの口を締め付けていた姿でした。

私たちが今日からできることとして、まずは食べ物を感謝していただくこと。ごみを減らすためにも好き嫌いなく食べ切りましょう。

2つめにマイバッグやマイボトルの習慣。レジ袋やペットボトルの使用を控えることができます。マイ箸があれば割り箸ごみも減らせます。

3つ目は当たり前のことですが、ごみは決められた場所に捨てること。燃えるごみ、燃えないごみ、資源物、不燃物をしっかり分けてください。

本日は、さかなクンの話を聞いてくださってギョセイチョウありがとうございました。

〈講師プロフィール〉

さかなクン

タレント、東京海洋大学名誉博士

東京都出身、館山市在住。魚の知識、美味しい食べ方や環境問題など、漁業従事者と明日の漁業を考えようと全国で講演。2010年には絶滅したとされていたクニマスの子孫確認に貢献。海洋に関する普及・啓発活動が認められ「海洋立国推進功労者」として内閣総理大臣賞を受賞。11年農水省「お魚大使」、12年文科省「日本ユネスコ国内委員会広報大使」、14年には環境省国連生物多様性の10年委員会(UNDB-J)「地球いきもの応援団」の生物多様性リーダーに就任。15年、東京海洋大学名誉博士を授与。

執筆活動では朝日小学生新聞「おしえてさかなクン」を連載。NHK『ニュースシブ5時』の「さかなクンのギョギョ魚ななかまたち」などに出演。

パネルディスカッション

駿河湾の 海洋資源と環境保全

パネリスト

- **安永 正氏** (沼津港深海水族館副館長、元サンシャイン国際水族館館長)
※オンライン出演
- **大津 孝佳氏** (沼津工業高等専門学校教授)
- **渡邊 眞一郎氏** (MaOI=マリンオープンイノベーション=機構専務理事)

コーディネーター

- **中山 勝氏** (企業経営研究所理事長、TESS 研究員)

(中山) 先ほどのさかなクンの基調講演では、知っていそうで知らなかったこと、初めて知ることなど、極めて興味深いお話を聞くことができました。ここからは我々の宝である駿河湾の海洋資源と環境保全について議論してまいりたいと思います。

(大津) 沼津高専で電子機器工学を教えています。1985年に日立製作所に入社し、25年間、ハードディスク用の磁気ヘッドの開発を手掛けてきました。2010年に三重県の鈴鹿工業高等専門学校教授に就任しました。専門は電子デバイスの信頼性で、電子デバイスが静電気などで誤動作しないような技術を専門とし、目に見えないものを見えるようにすることに仕事柄、取り組んでいます。

鈴鹿では、未来の地域を担う子どもたちのための科学技術人材育成事業「三重サイエンスネットワーク」の運営責任者に従事し、鈴鹿サーキットを創造教育のキャンパスにしようと、炭素繊維強化プラスチックの車や教材用のブロックで車を作って公式レースに出場したり、乾電池と充電器を使った車でF1コースに挑戦する等、地域にあるホンモノの鈴鹿サーキットを教育に活用してきました。

2015年に沼津高専に移り、電子デバイスの信頼性の研究を続けるかたわら、沼津でホンモノは何かということで駿河湾の深海調査に着目し、調査を始めました。政府の知財創造教育関

連の委員も務めております。

(渡邊) 私は2年前まで県職員を務め、一番長かったのは15年関わった静岡空港の仕事でした。まだ何もないところから空港を建設し、今の三菱地所と東急電鉄を中心とした富士山静岡空港株式会社の民営化立ち上げに尽力しました。令和元年7月に設立したMaOI(マリンオープンイノベーション)プロジェクトの専務理事に立候補し、今に至っています。

MaOIは静岡県の産業振興施策の一つで、地元には兄貴分であるファルマバレープロジェクト、農業関係の先進技術を活かしたAOIプロジェクトがありますが、その海洋版ということで、海洋関連産業の振興と環境保全を合わせ、ヒトも自然も豊かにする経済活動を目指して取り組んでおります。世界レベルでいうと「ブルーエコノミー」と呼んでおり、産業活動と自然保護を新しい技術や知見で取り組んで行こうというもので、SDGsの一環として世界中で進められています。

大きくは3つの取り組みを考えています。一つは調査研究。昨年11月、清水にMaOI-PARCを新設し、遺伝子レベルの解析が行えるラボ施設を用意し、専任の研究員が大学の研究者等とともに駿河湾についての研究調査を行っています。二つ目は新しい技術を静岡に引っ張ってこようと、たとえば水産業では手元のスマホでデータ管理できるようなセンサー付きのいけす、

デバイスそのものを一から作ることを進めています。三つ目はオープンイノベーションとして民間の方々がスピーディーかつ効果的に取り組めるお手伝いをしたいということ。このような施設は使っていただいていたら、ぜひ多くの方に活用していただければと思っています。

(安永) 沼津港深海水族館は2011年12月にオープンしました。1階が深海生物を中心とした展示、2階も深海生物展示と透明骨格標本というとてもキレイな標本を展示しています。さらに、2年がかりで標本にしてもらった駿河湾の幻のサメ「メガマウスシャーク」を昨年から展示しています。目玉となっているのは、駿河湾産ではありませんが5体のシーラカンス。昨年は大津先生のほうからブロックで実物大のシーラカンスも提供していただきました。

水族館設立のお話を頂戴したとき、沼津イコール深海はイメージできたのですが、深海生物は漁期が限られ、飼育が難しく、資料も乏しいということで、深海生物の展示は一部にとどめようかとも考えました。しかしながら静岡県で4番目の水族館になるため、何かしら特徴を持たせたいと、思い切って深海を中心に頑張ってみようということでスタートしました。

今のところ周年、安定して深海生物を展示できるようになりました。そのためには展示の水槽よりも裏のたくさんの水槽で禁漁期の春～冬まですべて収容し、展示に供するようにしています。ここまで深海生物が展示できるようになったのは、ひとつは駿河湾の地形ですね。漁場まで非常に近いということ、水族館を支えてくださっている漁師さんの存在が大きいです。

駿河湾そのものが一つの大きな資源

(中山) それでは海洋資源の話から進めます。2019年にマリンバイオ産業振興ビジョンというのが発表されました。その目的を見ると「駿河湾等の特徴ある環境が、そこに生息する多様な海洋生物等、魅力ある海洋資源を活用し・・・」とあります。まず駿河湾にどのような海洋資源があるか教えていただけますか。

(渡邊) 駿河湾は多様性を持った海であり、多種



多様な生態系を成しています。それらの中には昨今の科学技術などを生かす中で、さまざまな体の役に立つ有用成分があることが解明されてきました。それらを取り出し、別の形で健康的な生活に生かすことが可能であろうと。また非常に深い海溝を有し、我々がまだ知らない未知の生物等の調査探索も進んでいます。さらに言えば地下の鉱物資源等も未開発なところがたくさんありますし、海そのものを持つエネルギーをいかすことも可能です。波力や温度差、昨今は海上に風力発電機を作ろうという動きもあります。そういった活用を考えてまいりたいと思っています。

(安永) 駿河湾そのものが一つの大きな資源で、人が作り出すことのできない非常に大きな恵みをもたらす地形だろうと思います。たとえば一級水系が流れ込んでいる湾であり、富士山からの海底湧水にはミネラルも豊富です。湾の南西部に非常に浅い部分があるため、黒潮が流れ込んできたときは海域が非常に複雑で、豊富な生物相を成す。実際に水族館でも底引き網漁、かご網漁などでここに行けばこれが捕れると分かっているけど、漁師さんは「まだまだ未知の漁場がたくさんある」と言います。

海洋資源と先端技術の融合

(中山) 生物資源、海洋鉱物やエネルギー、駿河湾それ自体が資源であり、地形はジオパークの話にもつながります。地域資源としてどうとらえたいか、どのように活用すべきか、技術や産業面で大津先生にお話いただけますか。

(大津) 私たちは昨年度、沼津市と「ヘダ深海調

「査学」を立ち上げました。深海、知的財産教育、環境エネルギーと3つの軸があり、これらを使って未来の地球のための創造性を育む教育を目指すものです。深海が地球を救っていくんだよという考え方。これらをホンモノの深海を使って体験させていきたいと思っています。

2016年度から取り組んでいる深海調査では、2019年度に1,530mの深海を4K映像で撮影することに成功しました。これらを学生のチームで行っています。世界で一番フットワークのいい深海調査チームだと自負しています。

注目してほしいのは、海底の様子をすぐに見ることができるということ。具体的に深海魚をどうかすかといえば、世界の人口は2020年に78億人、2050年に97億人、2100年に109億人になります。人口が増えると何が問題になるかという、食糧・エネルギー・健康という3つが重要問題になってきます。つまり「世界のために深海魚を食糧に」です。私たちには干物という技術がありますから、深海魚を世界の食糧問題として子どもの頃から考え、食育に生かすのもいいのかなと思います。教材用ブロックで等身大シーラカンスを作って沼津港深海水族館に提供したのも、実際のシーラカンスの大きさを実感させるためです。

「深海魚でエネルギー」と聞くとエッと驚かれるかもしれませんが、さかなクンの話にもあったように深海魚は油分を豊富に有しています。火力、水力いろいろある中でもう一つのエネルギー源として、深海バイオマス発電を非常時の電源に活用できないか。深海魚はある意味カーボンニュートラルで、小さなエネルギーかもしれ

ませんが食用に不向きな未活用の魚種の有効活用につながります。実際にろうそくぐらいの炎で、1.7ボルトぐらいの電圧でプロペラをグルグル回しながら音楽を鳴らす実験も行っています。



大津 孝佳氏

さらに深海魚の油脂の活用。現在の夏の湿度は140年前の東京の冬の湿度と同じといわれており、冷房装置等によって乾燥しきっている。肌が乾燥すると静電気が起きやすく、ウイルスも付着しやすくなる等、健康上の問題が起きやすい。感染症対策の観点からも乾燥肌ケアが重要になってくるのです。深海魚の油脂を調べてみると、アブラボウズやアイナメの油分は化粧品やサプリメント、マッサージ用品等に適しています。こういったものを産業化できないかと考えています。

(中山) 私も乾燥肌なので非常に興味があります。極めて魅力的な海洋資源があり、そこに先端技術が融合するという夢のあるお話でした。深海を撮影するカメラも沼津高専で開発しているのですか。

(大津) そうです。学校では高価な材料は使えませんので、2,000円のライトで1,500mの深海を照らす実験などを行っています。

食糧生産エネルギー効率が高い魚食

(中山) MaOIプロジェクトに関しても産業と技術に関しては研究が進んでいると思われませんが。実例を挙げていただけますか。

(渡邊) MaOIプロジェクトはまだ始まって1年半です。たくさんの成果が出ているわけではありませんが、いくつかご報告できることがあります。

まず入口の話として、食糧生産のエネルギー効率を考えると、家畜を飼って肉を食べることに費やすエネルギーよりも、魚を生産するためのエネルギーのほうが効率は高い。あるいはその中からより良質なプロテインを摂取できる観点から、魚食を推進しています。ちなみにご当地の練り製品は、原料の白身魚の成分が筋肉増強に非常に役立つという研究結果も出ています。

昨年暮には県沼津工業技術支援研究所がカツオ成分から分離した乳酸菌でヨーグルトを開発し、疲労回復や筋肉増強に効果があることが分かりました。ちなみに同所は清酒の静岡酵母の開発で知られており、同じように県独自の菌類を活用する形を進めていきたいと考えています。



渡邊 眞一郎氏

魚由来の微生物は眼病疾患に有用だということで慶應義塾大学と静岡大学で研究が進んでおり、ファルマバレープロジェクトで創薬につなげていければと考えています。

実際に商品化された事例で

は、静岡市の用宗海岸で獲れるアカモク。地元の漁師さんにとってはスクリュウに絡みやすい迷惑な藻でしたが、地元のベンチャー企業がフコイダン等の有効成分を抽出して高保湿化粧水を開発し、香港のマーケットに輸出されています。また駿河湾由来の微生物で作ったサバ醗酵エキスでサバラーメンを開発した企業もあり、ハラル食として展開可能となっています。日本のラーメンはイスラム圏でも人気がありますが、食べたくても食べられない人に訴求できると思います。

先ほど深海の撮影カメラの話がありましたが、こちらでは水中ドローンの開発も実際に進んでいます。

水族館が果たす役割

(中山) 駿河湾の観光の可能性についてはいかがでしょうか。

(安永) 水族館には静岡県内のみならず関東、関西、東北、九州からもお客様がいらっしゃいます。そういう方々は深海魚を目的にされているんですが、それらの80%が目の中の駿河湾に生息していることはあまり知らない。駿河湾自体、そんなに深海だということもご存知ないようです。「目の前の海で捕れるから展示できるんですよ」と訴えるのですが。

水族館は教育の場だと言われます。私どもとしてはあまり教育教育と前面に押し出すよりも、楽しみながら何か学んでいただくものがあればいいなと思っています。

私事で恐縮ですが、私は熊本出身で、小学生の時、おばあちゃんに動物園に連れて行っていただきました。ちっちゃな小屋の中に30~45cmぐらいの水槽があって、トランスルーセントグラスキャットフィッシュという体が透けて背骨がハッキリ見える淡水魚に鮮烈な印象を受け、生き物が好きになる原体験となりました。

水族館というのは何かしらのきっかけを作って上げられる場所だと思っています。オープン時の来館者の年齢は比較的高かったのですが、1年未満でファミリー層や子どもの団体グループがすごく増えました。そこで、夏休みに小学生を対象に、戸田地区に伝わるタカアシガニの甲羅を使った魔除けのお面を作る体験講座を開きました。子どもたちが描いたお面はビックリするぐらいユニークなデザインばかりで、夏休みの宿題か自由研究代わりに非常に喜んでもらいました。たぶんタカアシガニの甲羅に触れるのは初めてだろうし、戸田地区で魔除けに使われていたことも知らなかったでしょう。

水族館にできることは小さなことかもしれませんが、生き物を通して何か伝えていくことが、観光や人づくりに多少は役立っているのかなと思います。またコロナが収束したら考えたいですね。

(渡邊) 伊豆ジオパークは海から見た地形の素晴らしさを伝えてくれます。海に潜る活動をされている人々に聞くと、まだまだ駿河湾の魅力を知らない人が多いと実感します。もっといろいろな形で広めていきたいと考えています。

駿河湾は知財創造教育の生きたキャンパス

(中山) 大津先生、教育面で駿河湾はどのように活用されているのでしょうか。

(大津) 内閣府が進める知財創造教育の一環で、沼津では富士山、駿河湾、伊豆半島などの地域特性と地域産業をキャンパスとし、ロボット、自動車、深海調査など、ホンモノへの挑戦や体験をキーポイントに挙げています。課題発見解決の発想のヒントとして、ロシア生まれのTRIZを武器とし、学校や自治体が企業と連携し、地域の未来を担う知財創造の人材育成を行います。

TRIZは企業の方はお聞きになったこともあ

と思いますが、40の発明原理、矛盾マトリックス等、発想をするためのヒントをまとめたツールです。企業内では特許を生み出すときに活用される発想法ですが、私たちは技術的問題のみならず生活課題、ジオパーク伊豆半島や百人一首の表現方法を置き換えて考えるEducation TRIZとして提案し、教育に活用しています。企業導入例では三島市の企業でカイゼン活動、裾野市の地域活性化にも取り入れられています。発展途上国の人材育成にも活用が期待されています。

我々はポケット駿河湾というビジョンを作成しました。御前崎と石廊崎の56km間の中心に水深2,500mの深海があり、フィリピン海プレートがユーラシアプレートに沈み込んでいる。まさに生きたジオ拠点があるのです。こちら側の斜面は急になっており、あちら側は比較的浅く、栄養豊富な漁場となっている。千本浜海岸のあたりは沖合が急斜面になっていることもよくわかると思います。

現在は1,500m周辺を調査しています。実際に映像をご覧ください。棒状のものが沈んでいるのがお分かりだと思いますが、私たちはこれをディアナ号の一部ではないかと夢を膨らませています。あの急斜面を滑ってちょうど一番深いところに落ちたのではないかと。そういうイメージが映像を通してつかめるのです。

(中山) 非常に興味深いですね。百人一首は科学ではなく文学の話ですし、タカアシガニの甲羅の面は民俗文化の話です。それだけ駿河湾には多岐にわたる魅力があるということですね。

海的环境は良くなっているとはいえない

(中山) 今後、駿河湾の環境保全なしでは発展は難しいでしょう。安永さん、生物資源の観点から、駿河湾の今の変化について解説いただけますか。

(安永) 駿河湾に限った話ではありませんが、温暖化の影響で珊瑚礁の北限がどんどん上がっています。水温が上昇し、珊瑚の生育域が広がっている。クマノミがいろいろなところで見られるようになったり、フグがこんなところにいたという例もよく聞きます。一概にダメというわけ

ではありませんが、ここ最近では水温の上昇でサンマ漁が不漁になったというニュースもあります。

駿河湾自体は表面積に比べて深く、容積が大きいので、変化が緩やかで、良くも悪くも変化のカーブは小さいと思われます。先ほどのさかなクンの話にあったように、ヨコヅナイワシの発見は何かしらの環境の変化というよりも技術の向上という側面もあるでしょうし、リュウグウノツカイは地震の前触れか、はたまた温暖化の影響かという見方もあります。正しいかどうかはわかりませんが、海的环境は良くなっているとは決して思えません。ましてや海的环境は見えないだけに、ひょっとしたらボディーブローのように効いてきて、いつか取り返しが付かないようになるという危機感は持つべきだろうと思います。

なぜボディーブローのように効くかといえば、私たちの生活が利便性を追求していることに尽きます。深海でもレジ袋が見つかる時代です。そういうことを考えると悪い方向にちょっとずつ向かっているのではないかと考えています。

(中山) 海が痩せてきたという話をよく聞きますが。

(安永) 駿河湾が痩せたといわれるのは、サクラエビ不漁の原因の一つに、河川からの堆積物による富士山湧水量の減少が挙げられます。湧水のミネラル分が海に放出されなくなるとプランクトンの生育に影響し、食物連鎖で徐々に大型生物にも影響が及ぶということはあるでしょう。

(中山) 寒ブリも駿河湾の外洋で捕れていたのが、だんだん小さくなっていると聞きます。

(安永) 必ずしも密接な関連性があるかどうかはわかりませんが、まったく影響がないとは言えません。

深海デブリに映ったプラゴミ

(中山) 大津先生、深海調査の結果から駿河湾の変化は読み取れますか。

(大津) この映像を見てもらうとイメージがつかめると思います。530mの海底映像ですが、天の川のように見えるのがマリンスノー。これが動物や植物のプランクトンの死骸や排せつ物です。

顕微鏡で見ると非常にきれいな姿をしています。これが光の届かない深海に住む生物の貴重な栄養源になっており、地球全体のCO₂の排出量の約5分の1を担っているのです。地球温暖化の観点からもマリンスノーは非常に重要な存在であり、これをしっかりモニタリングすることが重要だろうと考えています。

音響調査も行っています。音で聞いてもらうと天ぷらが揚がる時のようなパチパチとした音で、天ぷらノイズと呼んでいます。テッポウエビのような生物が発する音で、元気にパチパチやっていることで生育状態を把握することができます。

この映像は1,500m周辺の深海デブリの映像です。ここに洗剤の容器、梱包材のロープなどがあるのがお分かりでしょう。わずか1時間足らずの調査でもこういったものが映るくらいの頻度の高さです。このような映像を整理し、分析をすることは非常に重要です。

(中山) 環境保全のための活動として、MaOIプロジェクトではどのような取り組みを進めていますか。

(渡邊) 3つほど挙げられます。一つは県内の既存の工業技術研究所や水産試験場等で行ってきた調査データを当方でお預かりし、皆さんに分かりやすく活用していただく「ビショップ」というデータベースを再構築しました。時系列的に駿河湾の状態がわかるようスタンダードデータとして整理し、5～10年後に比較できるようにしました。

二つ目はプラごみ対策。プラスチック容器に置き換わる新製品の開発が必要だろうと思いますが、まずはその必要性を訴える啓蒙活動に力を入れているところです。

三つ目は再生への取り組み。海水の層である藻場を元の状態に戻す活動を進めています。昨年暮れには20組の親子の皆さんにサガラメを植えて海に設置をする体験イベントも行いました。

他人事ではなく自分事に

(中山) スキューバの皆さんは環境保全ボランティアで、ごみの回収活動をされていますと聞きます。海洋プラスチックの話は最終的には食物

連鎖の果てに我々人間にも関わってきます。駿河湾の海洋資源をどう活用していくのか、環境保全はどうしていくのか、今後の方向性や課題についてお一人ずつお願いします。



安永 正氏

(安永) 石垣島の

私の自宅もすぐそばに海があります。石垣島でも毎週多くのボランティアが海岸清掃しています。海に捨てられたものというより川に捨てられたものがほとんどです。中にはハンゲルや中国語のパッケージラベルをよく見かけ、悪いのはそっちの人だと言いますが、日本語パッケージのゴミもアメリカ西海岸に漂着しますので、黒潮に乗ってしまうとアメリカ大陸まで行って、それがUターンして日本に戻って来たりする。自分たちの行動がどれだけ大きな影響を及ぼすのか、誰も知らないというのが問題だろうと思います。

水族館の存在意義を考えると、きれいで魅力的な水の面白い生態の世界を見せ続けることじゃないかと思います。見せ続けることで、いつかライセンスを取って潜ってもらいたいと感じてもらいたいし、自分が今、手にするごみを海や川に捨てようという気は起きなくなると信じたい。水族館ができることは直接的ではないかもしれませんが、水族館の記憶が身近な環境をいじめない意識につながればと願っています。

(大津) 駿河湾の環境を守るには学校や社会や地域が連携し、他人事ではなく自分事として考えることが必要です。地域社会と連携した知財創造教育では、幼稚園から大学まで地域のさまざまな課題を日頃の教育に取り入れる。駿河湾の環境を自分の問題としてとらえる活動を進めています。また社会人教育や生涯学習の位置づけにも取り組み、らせん状の巡回でどこにいても何度も教育が受けられる、TRIZのような武器を身に付けようと呼びかけ、沼津から県内、国内、

した。3位には沼津市の大瀬崎、平沢。6位は戸田の御浜海岸がランクインしていました。ワールドワイドにおいても極めて美しく貴重な資源が豊富な海であることが再認識されました。

静岡県民は素材が一流だが調理は下手だと言われます。観光イノベーションを興すことも下手だと。本日のパネリストお三方はすでに駿河湾に何らかの形で関与されていますので、我々が関与するとしたら魚を食べて海で泳ぐくらいかもしれませんが、これからは積極的にい

ろいろ関与していきたいですね。ストローをプラスチックから自然素材に変えるだけでも関与することになりますので、そんな小さなことから駿河湾を意識し、活動をしていくことが大事だろうと思います。本日はありがとうございました。



〈出演者プロフィール〉

安永 正 (やすなが・ただし) 氏

沼津港深海水族館副館長
元サンシャイン国際水族館館長

1957年生まれ。東京水産大学(現東京海洋大学)修士課程修了。サンシャイン国際水族館(現サンシャイン水族館)に入社し、館長を務める。退社後は「よしもと遊べる水族館」設立にアドバイザーとして参画し、2011年から現職。現在、沖縄県石垣市在住。

渡邊 眞一郎 (わたなべ・しんいちろう) 氏

MaOI=マリンオープンイノベーション=機構専務理事

1959年生まれ。静岡県入庁後、交通基盤部部長代理、文化・観光部長などを歴任。富士山静岡空港関連業務、クルーズ船就航促進、静岡ディスティネーションキャンペーン、ラグビーW杯準備などに従事した。退職後、2019年から現職。

大津 孝佳 (おおつ・たかよし) 氏

沼津工業高等専門学校教授

山梨大学大学院修了後、日立製作所に入社。慶応義塾大学博士号授与後、2010年に鈴鹿工業高等専門学校教授に就任し、15年から現職。地域特性を生かした知財創造教育を推進し、駿河湾をキャンパスとした深海調査などを行っている。

中山 勝 (なかやま・まさる) 氏

企業経営研究所理事長

島田市生まれ。スルガ銀行入行後、財団法人(現一般財団法人)企業経営研究所出向。部長、常務理事を経て、2020年から現職。サンフロント21懇話会シンクタンクTESS研究員、日本大学国際関係学部非常勤講師。県や県内市町の委員も務める。

サンフロント21懇話会 全体会

- 日時/2021年1月28日(木) 13:30~15:30
- 会場/サンフロント9階ホールよりインターネット配信



2021年1月、サンフロント21懇話会2020年度全体会が開催され、本年度の活動報告と来年度方針案が示された。記念講演では静岡市駿河区出身の海野素央氏(明治大学政治経済学部教授)が米国大統領選挙の裏側について、現場取材を基にユーモアを交えながら語った。新型コロナウイルス感染症拡大防止の一環で今回も昨年10月の伊豆地区分科会に続き、オンライン形式で行われた。サンフロント9階ホールではスクリーン上映した。

主催者挨拶



静岡新聞社 代表取締役
大石 剛

みなさまこんにちは。本日はお忙しい中サンプロント21懇話会の全体会にご参加いただき、誠にありがとうございます。新型コロナウイルス感染症の第3波は感染者数、重傷者数、さらに死者数とも増加を続けており、収束のめどが見えてきません。政府が鳴り物入りで導入したGoToトラベルも二転三転しましたが、人の動きを抑えるため一時休止となり、医療崩壊を招きかねない緊迫した情報も入ってきております。静岡県内各地でも集団感染クラスターが発生しています。

新型コロナウイルスは景気の低迷という面でも大きな影響を及ぼしております。特に観光業が柱の一つとなっている県東部や伊豆地区への影響は計り知れないものになっています。今こそ知恵を結集し、力を合わせて乗り切ってい

たいと思います。

こうした中で感染症対策を講じながら懇話会活動を継続していくため、検討や工夫を重ねております。本全体会も例年でしたら12月に皆さまにお集まりいただき、開催していましたが、本日このようなオンライン形式に変更いたしました。ご理解ご協力の程よろしくお願いいたします。1年延期となった東京オリンピックパラリンピック自転車競技など東部にとっての追い風もあり、懇話会としてもさまざまな支援をしていきたいと考えています。

さて本日の記念講演は明治大学教授の海野素央さんをお招きし、「アメリカ大統領選の裏側とそこから見えること」と題してお話いただきます。新型コロナが猛威を振るう中、昨年11月に行われたアメリカ大統領選挙は接戦の末、バイデン氏がトランプ氏を抑えて勝利しましたが、トランプ氏は敗北を受け入れないという異例の対応を続けました。大統領選の裏側や世界の超大国アメリカが今後たどる道について、県内やこの地域の産業への影響も踏まえてお話いただけるものと期待しております。

懇話会の活動も26年目を迎えました。地域活性化策の提言団体として、これまでいくつかの提言を実現することができました。これも会員の皆さまのご厚意とお力添えのおかげと感謝しております。

新型コロナウイルスの影響で今後の懇話会活動も臨機応変の対応が求められますが、多くの方々のご意見をうかがいながら、最良の方法で細心の注意をはかり、活動を続けてまいりたいと思います。皆さまの一層のご協力をお願いし、私の挨拶とさせていただきます。



懇話会活動報告



サンフロント21懇話会
運営委員長
(伊東法律事務所 所長)

伊東 哲夫

本日はオンラインでの全体会にご参加いただき、ありがとうございます。私からは2020年度のこれまで活動について報告させていただきます。

本年度は新型コロナウイルス感染拡大で例年のように各会合を開催することが難しい状況の中、新しい試みを含めて対応してまいりました。昨年5月29日、サンフロント9階ホールで総会に代わる役員会を開催しました。会員の過半数の239名の委任状をいただき、19年度の事業決算報告、20年度の活動方針案・予算案を可決承認させていただきました。同日には25周年記念誌を発行し、会員、県東部の市町、商工会議所、図書館などへ配布いたしました。

10月27日には伊豆地区分科会を初のオンライン形式で開催しました。日本総研主席研究員の藻谷浩介さんに「コロナ時代の伊豆観光を考える」と題してご講演いただき、約140名が視聴登録をしました。サンフロント9階ホールでのスクリーン上映には約20名が参加されました。終了後のアンケートでは内容やオンラインでの開催におおむね高評価をいただきました。

本日の全体会に先立ち、運営委員会を書面にて開催しました。懇話会の2021年度の方針について審議し、基本的な部分は了承されました。追って皆さまには正式なご報告とともにご承認をお願いしたいと思いますが、本日は概要をお伝えします。

方針案として、4つの基本的テーマについては、中長期的なこととして継続して取り組んでいきたいと考えております。地域創生につながる新産業の創出と既存産業の持続的発展の支援、新たな観光価値創造への取り組みの支援、動物愛護と福祉思想の普及活動支援と新たな展開の支援、「原・浮島地区まちづくり構想」実現の支援です。本年度に加えることとして、地域創生につながる新産業の創出と既存産業の持続的発展の支援では、19年度に静岡、山梨両県で締結した医療健康産業政策に関する連携協定がファルマバレープロジェクトの一層の発展に寄与することへの期待などを盛り込む方向です。トヨタ自動車が裾野市に建設する未来型実証都市「コネクテッドシティ」については東部各市町の関連した取り組みやファルマバレープロジェクトの連携を支援したいと考えております。

新たな観光価値創造への取り組み支援では、観光地やリゾート地で休暇を取りながらリモートワークする「ワーケーション」などに着目していきます。

動物愛護と福祉思想の普及活動支援と新たな展開の支援では、動物と人との関わりが愛護から共生へと変化する現状に対応したいと思います。

「原・浮島地区まちづくり構想」実現の支援では支援の方向性について、新たな人の流れや賑わいの創出など具体的に示したいと考えます。

新型コロナウイルスに対しては、社会の価値観や生活様式が大きく変わる中、当懇話会も状況を見極めながらしっかり対応し、会員や県民の健康や安全を最優先に運営することを「追記」などの形で示す方向です。

一つ一つが県東部地区の発展につながることを確信しています。今後もサンフロント21懇話会の活動に、皆さま方のお力添えをよろしくお願い致します。

記念講演

アメリカ 大統領選の裏側と そこから見えること

講師

明治大学政治経済学部教授

海野 素央 氏



コミュニケーション論&異文化研究 から見るアメリカ大統領選挙

私は静岡市出身で、実は静岡新聞・SBSにはご縁があります。実家のことで恐縮ですが、家具屋でケヤキのタンスを売っております。私が小学生の頃は静岡新聞やSBSによく広告を出していただいていた。父はエアブラシで絵を描いておりまして、第8回富嶽ビエンナーレ展で大賞をいただき、インタビューを受けたことがあります。受賞作品は静岡県立美術館で保管していただき、静岡に行くときは父の絵を見るようにしています。

2019年に静岡県広告協会よりお招きをいただき、トランプ政権の行方についてお話したことがあります。アメリカの大統領選挙はコミュニケーション、リーダーシップ、モチベーション、異文化の視点から研究しておりますが、それ以前は海外進出企業の日本人マネジャーと現地従業員のコミュニケーションについて研究していました。アメリカやメキシコ、中国、インド、タイ等の日系進出企業でヒヤリング調査を行い、静岡県の矢崎総業、村上開明堂、鈴与といった企業様にも大変お世話になり、研究を助けていただきました。

07年、オバマさんをニュースで見まして、直感的に、今までやってきたコミュニケーションや異文化の研究をオバマ陣営でできないかと思い、08年に研究計画書を大学に提出。めでたく通りまして、

ワシントンDCにあるアメリカン大学で2年間、大統領選挙を研究させていただきました。08年のあの「Yes We Can」の選挙、続いて12年のオバマさん2期目、16年のヒラリーさん対トランプさん、そして20年のバイデンさん対トランプさんと、現地で研究してまいりました。

選挙運動で鍛えられる 若者の対話スキル

結局オバマさんの2008年大統領選が、自分の研究の大転換になったわけですが、オバマ陣営にはコネ無しで、当時バージニア州フォールズチャーチにあった選対本部のドアを叩き、自己紹介をしました。当時はまだ選挙戦序盤でオバマさんの知名度もそれほど高くなかったせいか、「バラクがグローバルに支持されているんだ!」と非常に歓迎されました。

選対本部では、計4,400軒の戸別訪問を行いながら、支持者あるいは反支持者とフェイス・トゥー・フェイスでヒヤリングしました。クリントン陣営でも3,300軒、バイデン陣営でも中西部でコロナ感染前に戸別訪問をし、現地で研究を行いました。

アメリカの若者の選挙に対する熱意は明らかに日本人よりも高い。日本では公職選挙法によって戸別訪問が選挙期間中禁止されていますが、アメリカでは高校生や大学生が戸別訪問を行い、それを教育システムがバックアップしています。イン

ターシップ扱いで単位も付く。ただしオバマ陣営やクリントン陣営の学生達は「単位は関係ない」と単位なしで活動していました。それほど熱意が高いのです。

戸別訪問の魅力は、コミュニケーションスキルを高めてくれることです。紙を読まず、自分の言葉で立候補者の政策を述べる。そこがコミュニケーション能力や交渉能力の向上につながるのです。そういう若者がやがて政府の代表、企業の代表となって我々と交渉することになるのですから、勝ち目はありませんね。彼らは戸別訪問という実践で鍛えているのです。

トランプとバイデンの性格の違い

今回、トランプさんのツイッターが凍結され、言論の自由を脅かすといった批判もありましたが、現地で取材してきた立場からすると、トランプさんは言論の自由を盾にして、もう一つの真実を創り上げ、拡散させた。Qアノン信者がそれを強く信じて襲撃事件を起したわけですから、ツイッター凍結はやむを得ない措置だろうと考えています。

Qアノン信者はトランプ支持者のサイトで「中国がアメリカに核戦争を仕掛けたら、誰が我々に教えてくれるんだ。トランプがツイッターで教えてくれるんだ。ツイッターがなければコミュニケーションできないんだ」と不平不満を漏らしています。

トランプさんのパーソナリティは酒もたばこもやらない禁欲者で、幼児性と攻撃性を併せ持つと言われます。私から見ると彼は非常に「根に持つタイプ」ですね。今回年末にトランプさんが「今回の選挙で少なくとも上院議員を8人救ったにも関わらず自分が邪悪な敵(=民主党)と闘っているのに、彼らは傍観している。決して許さない」と。そういうところにトランプさんの性格が出ているように思います。

もしバイデンさんが同じように根に持つタイプだったら、ハリスさんをパートナーにはしなかったでしょう。ハリスさんは民主党の党大会でバイデンさんを「人種差別撤廃をスローガンにしたバスの導入に反対した」と徹底攻撃しましたから。しかしバイデンさんは人を恨むような性格ではなかった。その点は菅総理もやりやすいのではないかと思います。

チームバイデンへのアプローチ

バイデン政権の陣営を見てみましょう。キーパーソンはプリンケン国務長官です。両親は離婚しており、義父となった人はホロコーストの生存者で、アウシュビッツほか複数の収容所にいた人。ですから彼も人権問題に敏感に反応します。日本は安倍-トランプ政権で解決できなかった拉致問題を、プリンケンさんに粘り強くアプローチすべきです。拉致問題、中国ウイグル族、香港民主化の3本柱で「人権の外交」という軸ができるので、これを日本も活用したほうがいいと考えます。プリンケンさんはバイデンさんの分身といわれ、99%同じ考え方を持っています。バイデンさんは発足後、100日間は国内問題に集中するでしょう。最優先課題はもちろんコロナ対策です。役割分担としてプリンケンさんが外交問題を担当されると思います。

対中国では争点別、分野別に取り組んで行くでしょう。たとえば気候変動問題では協調姿勢を取り、知的財産権、貿易、人権は強硬姿勢。北朝鮮問題はバイデンさんも選挙期間中「トランプは独裁者と仲良くした」と批判してきたように、北朝鮮は核のリストを提出しない限り会わないと一線を画しています。トランプさんは自分で核問題を解決できるとアプローチをしました。カウボーイのジョン・ウェインのようなアプローチですね。手柄も自分です。

しかしバイデン-プリンケンチームはチームアプローチです。同盟を重視し、日韓との連携を強めるということ。ですからトランプさんのように突発的に米朝首脳会談を行うという可能性は低いでしょう。

中国に対しても、つねに日本と韓国を“チームバイデン”に入れたいわけです。日韓がチームC(習近平)に入ってしまったら大変なので、チームバイデン側に入れようとアプローチしてくるでしょう。

ユニティ(結束)の実践

バイデン政権の日本に対する影響について考えてみましょう。人事を注目してみると、エネルギー長官と運輸長官がポイントです。エネルギー

長官はジェニファー・グランホルムさんという元ミシガン州知事を指名しています。彼女は知事時代、太陽光や風力発電を推進し電気自動車の普及に尽力しました。運輸長官のピート・ブティジェッジ氏は元軍人の同性愛者。アフガン戦争の従軍経験がある人で、彼も電気自動車推進派です。

この2人を指名したということは、バイデンさんは、バイアメリカン法という選挙公約を実践しようとしているということです。連邦政府がアメリカ製品を買い上げるということです。政府が電気自動車を買上げ、全州の郵便局や軍施設で使う。あるいは学校のスクールバスに使うというやり方があります。バイアメリカン法を使って政府が買い上げたとして、メイドインUSAが独占し、外国企業が閉め出されるのかどうか問題になります。

経済対策に2兆ドルが投入されますが、これが株価にどう反映するか。バイデンさんは夏の終わりまでにワクチン接種を6億回(アメリカ全国民が一人2回接種する分)実現すると数値目標を立てています。この通り行けば株価もうまくいくかもしれません。バイデンさんは選挙の時から一貫して「トランプは人命よりも株価を優先している」と訴え続けてきましたから、株価を見て政治をすることはないだろうと思います。

アメリカの分断はどうなっていくでしょうか。これからのアメリカの行方を占う2つの要素があり、一つはバイデンさんのリーダーシップ。今言えることは、バイデンさんは就任以降も「ユニティ」という言葉を頻繁に使っています。出馬宣言のときから一貫しています。一方トランプさんがよく口にしたのは「エネミー(敵)」ですね。バイデンさんは「大統領の言葉は非常に重い」と繰り返し語っており、トランプ時代よりも結束の方向に行くのは間違いないと思います。

トランプ弾劾裁判の行方

もう一つはトランプさんの運命。今回の大統領選で7,400万票を獲得しましたが、私はおそらくこの数字がピークだろうと思っています。私が留学していた時の60代の白人女性教師で、ご主人がアフリカ系で肌の色は白人と変わらないくらい薄い人ですが、その女性教師が「トランプが

7,400万票も取ってしまって悲しくて泣いている」と。この数字はピークだと思うのは、11月3日時点で共和党支持者のトランプ支持率は87%ありました。それが、あの暴動が起きて70%まで下がりました。17ポイントも下がった。それに加え、ワシントンポストとABCニュースの最新世論調査で共和党はこの先もトランプのリーダーシップに従うべきかと問うたところ、従うべきと答えたのは26%。別の方向だと答えたのが67%でした。共和党支持者の中ではトランプ支持が57%、35%は異なった方向、自信が持てない7%という今までに無い数字でした。

昨年時点で、全米の支持政党の割合は、民主党が40%、無党派が30%、共和党が29%と、初めて無党派層が共和党支持者を上回りました。しかも高卒の白人人口は縮小しており、1月6日の乱入事件後、9日間のうちにアリゾナ州では共和党員が5,000人抜けています。ということで、おそらくトランプさんの影響力は残るけれども7,400万票はピークだったと考えます。

トランプさんは2月9日に上院で弾劾裁判を受けます。これが有罪か無罪かで彼の人生は大きく変わるでしょう。有罪評決が出れば、2回目の投票で公職権剥奪の是非を問う投票を行います。有罪か無罪かは上院議員数(100人)の3分の2にあたる67票が必要ですが、公職権剥奪は過半数の50があればいい。有罪評決が出れば剥奪は可能ということになります。

ここに来て民主党優位の下院で弾劾した後、すぐには上院に送らず、2週間の猶予を共和党とトランプさんに与えました。乱入事件後に間髪入れずに送ったらどうなっていたか。この2週間の間、民主党はバイデン政権の人事承認を優先させ、共和党もトランプ弁護団の足固めに時間が欲しいということで、裁判の公平性を保つための2週間の猶予が水をさす結果になるのではとも思っています。

共和党からトランプ有罪評決賛成を表明しているのは、今のところ5人です。民主党50人を足しても55人で、過半数の67までまだ12足りない状況です。これでトランプさんが無罪評決を得ると2024年にもう一度カムバックしてくる可能性が出てきます。2月9日から始まる上院弾劾裁判がどちらに転ぶかによってアメリカの行方も変わってくるでしょう。

トランプに次の芽はあるか

弾劾裁判で有罪になるにしろ無罪になるにしろ、おそらく共和党の中でトランプさんを支持するグループ以外に共和党内の中堅派、穏健派からも立候補者が出てくるでしょう。バイデンさんのほうも民主党内でウォーレンさんやサンダースさんのような急進左派のグループがあり、だいたい4つぐらいのグループに分かれると思われます。バイデンさんは共和党の中道穏健派とはグループを作ることができます。サンダースさんやウォーレンさんのグループはトランプさんを非常に嫌っていますから、バイデンさんはマックスで民主党内をまとめ、プラス共和党中道穏健派を加えて多数派を組むことが可能かもしれません。

トランプさんのパーソナリティは「裏切り者を落とす」を公言しており、対立候補を立てたがっています。トランプ弾劾に賛成した下院の共和党議員10名、上院で弾劾賛成を表明しているアラスカ州選出のマーカウフスキー議員や、トランプさんが訴えた選挙の不正問題について積極的に調査しなかったジョージア州ケンプ知事、チェイニー元副大統領の娘であるチェイニー下院議員等を名指しで攻撃しています。共和党の中でもかなり票は割れると思われ、それがバイデンさんに優位に働くのでは、とも思われます。

アメリカの分断が50-50だとすれば、バイデン

政権で少しは改善されるだろうとみています。日本の流行語大賞のように、アメリカでもワシントンポストが今年の3大流行語というのを発表しており、2020年は「疲労」「喪失」「混沌(とん)」でした。トップは「疲労」。つまり分断疲れを起しているのです。トランプ支持者も過激な人ばかりではありません。どこかで分断疲れから歩み寄ろうという人が出てくるのではと見ています。

〈講師プロフィール〉

海野 素央 (うんの・もとお) 氏 明治大学政治経済学部教授

心理学博士。アメリカン大(ワシントン DC)異文化マネジメント客員研究員などを歴任。専門は異文化間コミュニケーション論、異文化マネジメント論。

2008年、12年米大統領選で日本人研究者として初めてオバマ陣営の草の根運動に参加。激戦州バージニアで4200軒を戸別訪問。10年、14年、18年の中間選挙で下院外交委員会所属のコノリー議員の選挙運動に加わる。

16年大統領選ではクリントン陣営でオハイオ、ミシガン、ペンシルベニアなど11州で3300軒を戸別訪問。20年の民主党大統領候補指名争いではバイデン、サンダース両陣営としてサウスカロライナなど黒人の多い地域を精力的に回り研究。

著書は「オバマ再選の内幕」(同友館)など多数。ウェッジ電子版などに連載。

青山 茂氏(株)シード 取締役副社長、TESS研究員)との掛け合いトーク

(青山) 海野先生は現地にとことん入られて、そこそ隣にいる人の汗の臭いまで感じられるようなリアルなお話でした。

(海野) 戸別訪問ではドアノブを触らざるを得ないので、ジェルで手指消毒しながら回りました(苦笑)。

(青山) 先生のお話を拝聴すると、アメリカというのは分かりやすい国だなと思いました。選挙権を持たない若者が教育システムの中で戸別訪問をし、コミュニケーション能力を鍛え、将来ビジネスマンや政治家になる。非常に健全な人材育成ですね。

(海野) 本当に実践的なオン・ザ・ジョブ・トレーニングです。うらやましいですよ。

(青山) 逆に分かりにくいのは、トランプさんが一般教書演説でディープステートに言及し、闇の勢力云々と言いだし、エスタブリッシュメントや民主党員を例にそういう勢力を排除しなければならない。まるでテレビのミステリードラマの筋書きで、仮に日本の首相が口にしたら到底相手にはされない話ですが、アメリカではQアノンのような組織としてしっかり根付いてしまっている。若者が選挙活動に参加する極めて健全な世界と、Qアノン

のような世界が共存しているというのは、アメリカの断絶を生み出した病症とも言えるのでしょうか。

(海野) そうですね。確かに病んでいる部分があり、アメリカ社会が分断されていたところにトランプが登場したのだから、陰謀論が浸透しやすかった。我々にとってトランプさんはビジネスマンというイメージでしたが、実際はプロデューサーで、ストーリーを創り演出するのが天才的です。基本的にアメリカ人は大きな政府を嫌いますから、先ほど紹介したベトナム帰還兵の父親が枯葉剤で亡くなった話をした彼も、「政府の中に闇があり、それを正直に語らない」と思い込み、トランプは彼らに「闇を叩く自分は救世主だ」とアピールする。そのときに大きな武器になったのはツイッターです。

(青山) 実際、選挙戦の途中からツイッターを連発し、バイデンさんの中国との関係や息子さんの不祥事について責め立てていましたが、それでもバイデンさんが勝利したのは共感のリーダーシップであり、オンラインでの支援活動でも圧倒しました。共感のリーダーシップとオンラインがうまく機能したわけですね。

(海野) バイデンさんは、1972年に最初の奥様と娘さんがクリスマスプレゼントを買いに行ったときにトラックと衝突して亡くなった。彼はそのとき29歳で上院議員に当選しており、事故車に同乗し負傷した息子2人が入院していた病院で宣誓をしたのです。ワシントンではなく地元の病院です。その映像が流れました。

トランプさんが支持者を大事にする姿も良かったのですが、私がバイデン陣営で最も心を動かされたのは、彼が吃音に悩んでいた少年時代の話です。バイデンさんのお母様はファーストネームのジョーに「Y」を付けてJOYとニックネームで呼び、「あなたはベストよ」と何度も励まし続けた。アイリッシュ系でしたからアイルランドの詩を何度も読んで吃音を克服したそうです。

昨年2月にハンプシャー州で吃音の少年がバイデンさんの集会に参加しました。取材に来たテレビ局には、少年とバイデンさんの会話の部分は音声をカットさせました。後で少年に「バイデンさんは何と言ってくれたの?」と聞いたら、アイルランドの詩集に線を入れながら何度も練習したという話をしてくれました。

8月の民主党大会はオンラインで開催し、バイデンさんは4日目に受諾演説をしました。当然オバ

マさんがバイデンさんを紹介するものと思ったら、3日目のハリスさんの前に登場し、「彼女を育てたい」と話した。ではバイデンさんは誰が紹介するのかわかったら、その吃音の少年が登場し、座りながらバイデンさんに語りかけた。スピーチが上手な人ではなく、吃音の少年が一生懸命紹介した。ここが「共感」なんですね。

(青山) その意味ではオンラインにドラマをうまく乗せたということですね。

(海野) 実際にバイデンさん自身も吃音症でしたし、戦略的かどうかといえば、その少年も偶然集会にやってきたわけですし、バイデンさんは今でも吃音症のグループにアドバイス活動をしています。

(青山) 民主党のオンライン選挙の先駆者はオバマさんと言われています。シリコンバレーのITメジャーも伝統的に民主党支持者で、そこからノウハウやスキルも得ているというのが大きいのでは。

(海野) そうですね。ただGAFAにとって、前回の2016年はトランプさんがテレビに出演したり、自身がSNSを利用すると視聴率やヒット数が上がるので、都合のいい人材だったのです。トランプさんにしても選挙費用を掛けずにメディアを支配できたわけですね。敗れたヒラリー陣営の選対本部長はラジオ番組で「最大の敗因はトランプにメディアを支配されたから」と言っていました。ただし、この4年間でトランプさんが“もう一つの真実”を創り上げて拡散したので、ツイッター社もフェイスブック社も反省し、あの1月6日の議会乱入が決め手となったのです。

(青山) トランプのフェイクストーリーと、バイデンのリアルストーリーの闘いがあるって、最終的にはフェイクが負けたということでしょうか。

(海野) その指摘は興味深いですね。

(青山) もう一つ、中国との関わりについてうかがいます。バイデンさんはもともと親中派で、習近平は「バイデンは私の古い友人だ」とも言っています。これが



青山 茂氏

プラスに働くか足を引っ張るかどうか。

(海野) バイデンさんは問題となった息子のハンターさんと訪中し、息子は中国ビジネスで散々叩かれました。ただバイデンさんもテレビ討論会で「大統領、あなたは中国に隠し口座を持っていますね」と切り返した。その瞬間、トランプさんの表情がグッと変わりましたね。バイデンさんは習主席とはよくコミュニケーションを取っていて、習主席からアメリカとはひとりでどういう国かと問われたとき「可能性の国だ」と答えました。

アメリカ人の中国嫌いは共和党・民主党とも共通で、民主党内でもオバマ政権時代よりはるかに強まっています。トランプ政権まで含めたこの12年間で対中国意識は激変しました。バイデンさんが対中政策を誤ると、次のハリスさんの芽はなくなるでしょう。

(青山) ホワイトハウスのサキ報道官が「中国とは戦略的忍耐で取り組みたい」と述べていました。どういう意味を指すのでしょうか。

(海野) 私もドキッとしました。中国や南アジアに対し、傍観主義を取り、気候変動問題では南シナ海と取引でもするのかと。しかし世論は許さないでしょう。中国が脅威であることは動かさない。日本はチームCに入ってしまったら大変ですから、しっかりチームバイデンに入るべきでしょう。

(青山) 韓国と中国はすでに接触していますよね。アメリカ新政権にどういう印象を与えているのか、しっかり考えているのでしょうか。

(海野) 韓国の文大統領はトランプさんと安倍さんの関係が羨ましかったのだらうと思います。ホワイトハウスを訪れたときも、「あなたは北朝鮮のメッセンジャーか」と言われたくらいで信頼が無かった。

(青山) 今まで日本の首相はアメリカ新大統領のもとへ、いの一番に駆けつけましたが、今回はコロナの影響でできなかった。その辺の出遅れ感には心配しなくてもいいのでしょうか。

(海野) アメリカ新大統領は就任直後、伝統的に隣国のカナダ、メキシコ、次いでイギリスと会っています。日本はアジアの中ではトップですが、あくまでも第2グループ扱いでしょうね。バイデンさんは最初の100日間はコロナ対策に力を入れます。ご高齢ということもあり、100日間は外遊をしないだらうと思います。

(青山) 4年間で2兆ドルという経済対策を打ち出

し、現金給付で低～中所得者層への下支えをしてくるだらうと思われま。アメリカ内政の立て直しに重力が置かれるとなると、ドル安に振れるのではないかと。日本の円高も危惧されるんですが。

(海野) バイデンさんは、外交は中流階級のためだと言っていますが、国内ではとにかく格差を無くしたいんですね。

(青山) それがバイアメリカンにつながっていくわけですね。静岡県の輸出額は2兆円ぐらいありましたが、対前年で6.6%割り込み、2兆円を切ってしまったので円高は気になります。実際問題としてトランプ前大統領は日本にとってそんなに悪い大統領ではなかったと思いますが、バイデン新大統領が日本にとってははるかにいい大統領だと言い切れる理由があれば教えてください。

(海野) トランプ集会に行くと「アベがノースキャロライナに自動車工場を作ってくれるんだ」と労働者にさかんにアピールしていました。日本で報道される以前から、そういう話をしていたのです。バイデンさんは日本に、自動車工場の誘致やイージスアショアの購入を強いるようなことはやらないだらうと思います。トランプさんは相手に気を遣わせる人でしたが、バイデンさんはそういう人でもない。

(青山) トランプさんは国際協調の壊し屋であり気まぐれ屋でしたが、バイデンさんは積み上げ派でオーソドックスに進め、確実性があり、予見できる余地がある。その安定性が日本や静岡にプラスになるのでは、という感じがします。

(海野) 静岡にもぜひ繁栄していただきたいです。

(青山) 2020年は惨たんたる年でしたから、今年はぜひとも回復してほしい。アメリカの大統領は世界一影響力のある人ですから。新しい大統領にも期待しましょう。今日は貴重なお話をありがとうございました。

青山 茂(あおやま・しげる)氏 プロフィール

(株)シード 取締役副社長

(株)シード 取締役副社長、(株)スポーツ・ウエルネス総合企画研究所代表取締役社長。静岡県内外の企業および自治体のプロジェクトのコンサルティングから事業プロデュースまで幅広く手がける。

ふじのくにしずおか観光振興アドバイザー。サンフロント21懇話会のシンクタンクTESS 研究員。



次世代室内環境システムを提案

そえ しま とし あき
副島 敏昭氏

積水ハウス(株) 沼津支店長

モットー ▶ Fan&Fun

趣味 ▶ 旅行、ドライブ、スキー

出身地 ▶ 福岡県

お話のポイント

♠営業エリアは富士川以東で伊豆半島まで広いです。コロナ禍以来、家にいる時間が増えたため、リビングの広さは従来20畳前後を希望する人が多かったのですが、この頃は30畳ほどの大きさを希望する人が増えています。また、外出先から戻った時に、手を洗ったりする設備を付けたいという人も非常に多いです。

♥自宅で過ごす時間が長くなった今、住まいも家族の健康を思う姿へ進化しています。次世代室内環境システム「スマートイクス」は換気、空気清浄、プランニングが一体となったシ

ステムで、換気のために窓を開けなくてもきれいな空気が流れるようになっています。

◆掛川市内には静岡住まいの夢工場があります。地震体験や断熱効果の体験が実際にできますのでぜひ体験してほしいです。

♣沼津支店では「Fan&Fun」のビジョンを掲げています。お客様のファンづくり、社内のファンづくり、地域の方にファンになってもらうシンパづくりです。楽しいファンは楽しい住まいを提供する、楽しい職場を提供することです。



船内の換気システム改修

たき なみ いさむ
滝浪 勇氏

一般社団法人ふじさん駿河湾フェリー
理事長

モットー ▶ 人生は笑顔

趣味 ▶ 旅行、ドライブ、スキー

出身地 ▶ 静岡市葵区

お話のポイント

◆駿河湾フェリーは、民間運行会社から30年度末撤退の報告があり、伊豆半島を中心に知事に存続要望が出され、県と環駿河湾の3市3町で一般社団法人を立ち上げ、一昨年6月から運航を開始しております。

♠昨年4月の緊急事態宣言に合わせ、5月末までの運休を6月末まで延長し、船内の換気システムを全て改修し、お客様に安全に乗船していただくため、徹底したコロナ対策を行いました。

♥コロナ禍の中で県が7、8月に半額キャンペーンを打ちましたが、予約があまり入らな

かったので、史上初だと思いますが、7月1-3日を無料にしたら、会社の電話が鳴りやまず、全便満船となりました。これが契機づけとなり、8月、10、11月は非常に多くのお客様に乗船していただきました。

♣今後は移動手段のフェリーから乗船を目的とした船に変革し、船の中で「観る、食べる、遊ぶ」を追求してまいります。特に令和3年度は勝負の年であり、駿河湾に住むイルカ・クジラのウォッチングや教育機関と連携した日本一深い湾である駿河湾のことが何でも学べる教育の船にしていく企画をたてております。

サンフロント21懇話会の 会員情報

■ 会員の變更

◇大丸松坂屋百貨店 松坂屋静岡店 …	店長 小室 孝裕	→ 店長 落合 功男
◇(株)ホテルグランド富士……………	代表取締役社長 小林 一哉	→ 代表取締役社長 広岡 隆英
◇(株)片岡屋……………	代表取締役社長 木下 好雄	→ 代表取締役社長 秋元 利之
◇静岡新聞社……………	東部総局次長 川内 十郎	→ 東部総局参与 石部 哲也
◇静岡放送……………	報道制作局長 森 政勝	→ 報道制作局長 伊藤 充宏
	取締役 放送本部副本部長兼編成業務局長 松澤 正典	→ 編成業務局長 谷口 智康
◇静岡県熱海財務事務所……………	所長 鈴木 佳代子	→ 所長 長谷川 達哉
◇静岡県熱海土木事務所……………	所長 尾崎 元久	→ 所長 古屋 徹之
◇静岡県賀茂健康福祉センター……………	所長 山下 正芳	→ 所長 田中 尚
◇静岡県賀茂地域局……………	局長 山口 武史	→ 局長 山根 正嗣
	次長兼地域課長 柴 浩行	→ 次長兼地域課長 青木 克裕
◇静岡県賀茂農林事務所……………	所長 伊藤 晃	→ 所長 藪崎 武彦
◇静岡県下田財務事務所……………	所長 山下 哲宏	→ 所長 原田 直彰
◇静岡県下田土木事務所……………	所長 曾根 裕介	→ 所長 榊原 正彦
◇静岡県田子の浦港管理事務所……………	所長 加畑 勝之	→ 所長 吉川 正剛
◇静岡県東部健康福祉センター……………	局長 黒岩 康	→ 局長 神山 正之
◇静岡県東部地域局……………	伊豆観光局長 西宮 寿和	→ 伊豆観光局長 柳川 典之
	次長兼地域課長 石川 哲史	→ 次長兼地域課長 磯崎 猛
◇静岡県東部農林事務所……………	所長 塚本 忠士	→ 所長 望月 辰彦
◇静岡県沼津財務事務所……………	所長 田嶋 源	→ 所長 松村 昭宏
◇静岡県沼津土木事務所……………	所長 原 広司	→ 所長 池ヶ谷 規文
◇静岡県富士財務事務所……………	所長 杉村 行弘	→ 所長 佐藤 広昭
◇野村証券(株)沼津支店……………	支店長 木村 拓	→ 支店長 大石 顕志
◇東海ビバレッジサービス(株)……………	代表取締役 中澤 正樹	→ 代表取締役 竹原 佳孝
◇(一社)三島建設業協会……………	専務理事 杉山 嘉章	→ 専務理事 中西 芳弘
◇富士通Japan(株)静岡東支店……………	支店長 園田 修治	→ 支店長 野本 貴之
◇(株)静岡銀行沼津支店……………	執行役員支店長 石井 英司	→ 執行役員支店長 鈴木 淳史
◇伊豆の国市……………	市長 小野 登志子	→ 市長 山下 正行

■ 社名の變更

◇(株)三島新聞堂 → (株)MISH

■ 社名、肩書の変更

◇池田病院 → 医療法人社団 聡誠会 池田 誠 院長 → 理事長

■ 肩書の変更

◇静岡新聞社 大須賀 紳晃 常務取締役 → 代表取締役社長
 ◇静岡放送 榛葉 英二 常務取締役 → 代表取締役社長

訃報

謹んでご冥福をお祈りいたします。

羽野 久雄(はの・ひさお)氏

元羽野水産社長、サンフロント21懇話会初代運営委員長



3月5日、心不全のため沼津市内の病院で死去。87歳。沼津市出身。1985年から25年にわたって社長を務め、沼津市の水産業をけん引。2010年に会長、19年から相談役。1990～2013年には沼津商工会議所常議員も務め、10年に産業開発振興功労者として知事表彰を受けた。

堀田 大洋(ほった・おおみ)氏

前沼津信用金庫理事長、サンフロント21懇話会幹事



3月15日、死去。78歳。沼津市出身。1962年沼津信用金庫に入庫。常務理事、専務理事を経て、2010年に理事長に就任。地域の中小企業支援や産業振興に尽力した。13年から相談役。同年から6年間、沼津法人会の会長も務めた。